

「ウサビ、とろおーりトマトの堀農園へ行く」後編

「ウサビ、とろおーりトマトの堀農園に行く」後編

このレポートはウサビ堀農園に行く前編の続きです。



この続き

前回までのあらすじ

町内の大谷地区にある堀農園の取材にやってきたウサビ

そこで起きた驚愕の事件をカメラマンをしてくれた、

ウサビの上司サクマさんに解説してもらいます。

サクマ「あ...ありのまま 今 起こった事を話すぜ！」

「ウサビは高級トマトジュースの取材をしていた

と思ったら いつのまにかクイズをしていた」

な... 何を言っているのか わからない思うが

俺も 何をされたのか わからなかった...

意識がどうにかなりそうだった... ご当地キャラだとか 6次産業化だとか

そんな代表的な町おこしなんかじゃあ 断じてねえ

もっと恐ろしいものの片鱗を 味わったぜ...」



取材に行ったはずが、いつの間にかクイズになった瞬間



リドラーではない、堀家の息子である！

(リドラーはバットマンに出てくるクイズを主体の戦術で戦うキャラ)

というわけで、レポート用に高級トマトジュースを手に入れるため

堀農園恒例のトマトクイズ(通称ウルトラ堀クイズ)に挑戦することになったウサヒ。



回答番号カードも渡された。

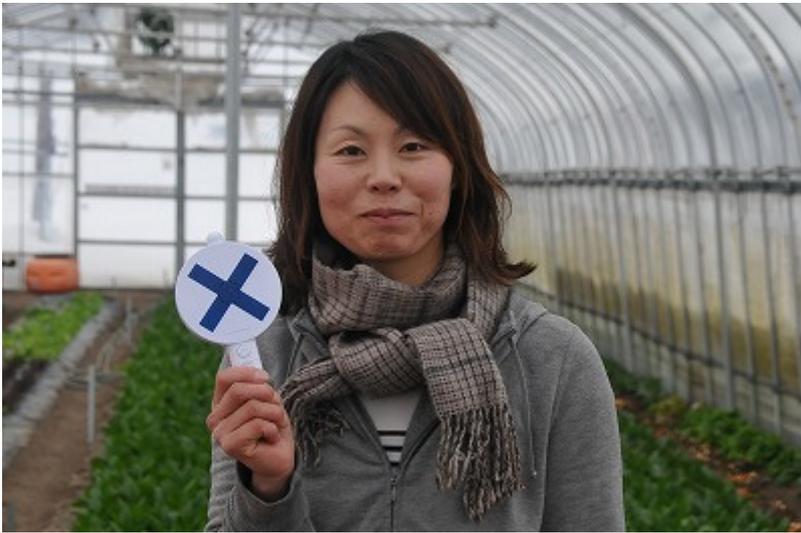
(しつこいようだが、今回の備品は堀農園さんの自作です)

堀母 「準備できたわね～、行くわよ！

第一問 じゃじゃん！」

サクマ 「(効果音口で言った…)」

()内は心の声である



効果音も口頭で言っていた

堀母 「トマトの生産量が日本一の県はどこでしょう？

1、熊本 2、岡山 3、山形 」

ウルトラ堀クイズは

思った以上にちゃんとしたクイズでした。

ウサビ 「うーん、まあ、今回はトマトのPR に呼ばれたわけだし

当然、山形のトマトが一番ってことを宣伝したくてこのクイズ出したんだろうな…ということで

3番」



出題者の足元を見て答えを考えるせこい回答者

堀母 「それでは正解です……」

正解は……ダラダダラダダン！！！」

息子 「1、熊本です」



ウルトラ堀クイズはいつだってマジである

ウサビ 「くはぁ！！くまモンにしてやられたぁぁ！！」

堀母 「ちなみに2位は北海道。2011年統計では山形は19位よ。」

ウサビ 「地味にためになる情報ありがとう！！」

息子 「どんまい」



励まされる PR マスコット

ウサビ 「ちなみに息子は答え知ってた？」

息子 「知ってた、堀農園の HP で勉強するとわかるよ」

堀農園のホームページにはトマトの情報をまとめた

トマト豆知識のページがあります。

ここで勉強しなくてはウルトラ堀クイズは勝ち残れないのです。

その後、激しいクイズ合戦が行われたのですが、

あまりにも長くなるので割愛します。



激しいクイズ合戦の様子

私もウルトラ堀クイズがやりたいって人は

ぜひ コレ(<http://www.hori-farm.com/quiz/>) に挑戦してみてください

ウサビがやったクイズがWEBでも体験できます。



クイズやりきったウサビ

と、そこに、堀農園の代表・堀吉和さんが

堀父「頼まれていたこれ、持ってきたよー」

ウサビ「なにそれ？」



堀父が届けてくれたそれは…

堀母 「はい、頑張ったウサビに表彰状です」

ウサビ 「すげえ、ありがとう！！」

息子 「よくがんばったと思うよ」



がんばったので表彰状もらえた

ウサビ 「ううう、頑張ったかいあった…ありがとう…ありがとう…で、でも…」

堀母 「でも何よ。」

ウサビ 「賞状よりトマトジュースが欲しい！」

堀母 「は、忘れてた！！」



こうして無事ジュースを受け取ったウサビ

ウサビ 「うめえ、トマトジュースうめえ。」



せっかくなので味わって飲みましょう

後日談

トマトジュースは中の人含め、スタッフのみんなでいただきました。



塩が入っていないトマトジュースって意味が飲んでわかりました。

トマトジュースが苦手な人でも、これは違うというくらい

すっきり、それでいて濃い飲み口は、ぜひ本物をご賞味ください。

堀農園さんの公式サイトを通販だけでなく

お隣・大江町の温泉施設

そして、なんととっても3月いっぱい

東京銀座おいしい山形プラザで購入可能です。

ちなみに、中の人結婚情報も載っている

広報あさひまち 2 月号の「住人十色」のコーナーでも

堀農園さんが載っています。

ウサビの朝日町探検・堀農園編 完結